メニューへ戻る

翌日へ

R1 SG 台湾 FW

11/19（火）

今日は最後の訪問場所、政治大学附属高級中学で現地高校生と交流しました。まずは校長先生をはじめとする先生方とご挨拶、互いの学校紹介を行いました。

その後、講堂へ移動し、高校生との交流です。

同い年くらいの生徒達に対して、再び学校紹介を行いました。応援歌とさんさ、そして「上を向いて歩こう」を披露。3 回目ともなればさすがの完成度を示し、現地の皆さんも好評を得ました。

次はプレゼンバトルです。

本校と政治大附属高の生徒が交互にプレゼンを行い、質疑応答を英語で行いました。英語圏の文化では、オーディエンスの構えとして、発表者に対して一番報いるのが、質問をすることです。「私はあなたの話に関心があります」「ちゃんとあなたの話を理解したいので、私がわからなかった部分を教えてください」こうしたメッセージが質問に含まれるのですね。正時代附属高の生徒はとても英語が達者で、本校生徒は流暢な英語に食らいつくのも大変な中、たくさん質問をしており、国際人としての素地を垣間見ました。

政治大附属高の先生方に美味しいお弁当と最高のタピオカミルクティーを準備していただき、生徒達と一緒に楽しく食べました。

午後は物理の特別授業を受けました。レーザーポインターの光が、特定の液体を透過するかどうかという実験と、VR 体験を行いました。詳しいことはわかりませんが、前者の実験では、液体をいくつか混合させると、レーザーポインターの光が変色しました。VR では電子と陽子の衝突をシミュレーションするゲームを行いました。すごいなぁ、楽しいなぁとは思いましたが、スペクトルと電子と陽子を同時に学んだのには、何か関係があるのですか？物理の先生、あとで教えて！

最後に拓碑体験を、本日バディとして 1 日付き合ってくれた生徒さんと一緒に行いました。拓碑とはなにか、説明が難しいので写真で確認していただければと思いますが、先人の残した素晴らしい文字を、お手製の版画にしてお土産にする、台湾では割とよくある風習もようです。

長い旅もこれで予定されていた活動は終了です。同世代の子達と触れ合えたせいか、それとも研修を一通りやり通せた達成感からか、今日はいつもよりテンションが高いように感じました。明日はただ帰るのみですが、盛岡の自宅に着くまで気を抜かないでほしいです。

/01 學校簡介

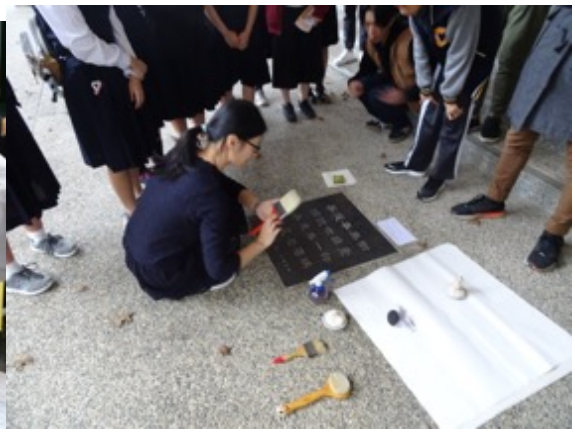
Shinpei Goto
後藤 新平

HOW CAN WE MAKE
ADVERTISEMENTS MORE
APPEALING TO PEOPLE ?
hi

YouTube
The unveiling of YouTube:
$160 billion worth industry

Ranking of Attractive Prefectures in Japan
1. Hokkaido
2. Kyoto
3. Tokyo
14. Miyagi
19. Aomori
20. Iwate

Affirmative Action on CAP

Make Our Hometown Morioka More Energetic by Improving the Present Playgrounds for Kids

Gender Equality:
Women in Business
and
Entrepreneurship
in Taiwan and Beyond